

旭小学校

かわら版

学校通信

- ・かしこい子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



令和2年7月9日号

朝は気持ちの良いあいさつから



少しずつ日常が戻ってきました。毎週木曜日に行っていましたJRC委員によるあいさつ運動が2日(木)から再開されました。気持ちの良い1日は、気持ちの良いあいさつではじまります。あいさつは、人間関係のスタートです。あいさつのあふれる学校になるとよいと思います。自分から元気よく笑顔であいさつをしましょう。



いじめ防止のぼり

自分の命は、自分で守る

避難訓練

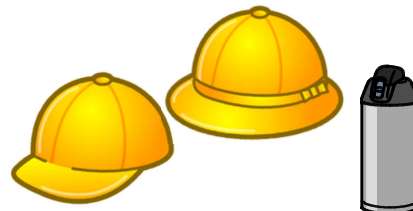
2日(木)の1時間目に今年度最初の避難訓練を行いました。コロナウイルス感染防止対策のため、密集を避け校庭に学年ごとに距離をとって避難しました。

災害はいつどのような状態の時に来るか分かりません。自分で考え行動できるように日頃から意識しておきましょう。そのためには、

- ①人の話をよく聴く
 - ②周囲の状況をよく見る
 - ③よく考えて行動する
- が大切です。



暑さに負けない 熱中症対策



今年も猛暑が予想されます。コロナウイルス感染防止のため、マスクを着用しているため、一層注意が必要です。授業中も十分な水分補給や休憩などを取りつつ取り組みますが、ご家庭でも下記のことにご留意いただくとありがたいです。

- 生活リズムを崩さない(朝食抜き、睡眠不足は危険です)
- 朝の健康状態を確認する(前日に体調不良だった場合はムリをさせない)
- 登下校時は、帽子を着用する

新たな時代に向かって 旭小学校も変わります

先にもお伝えしたように今年度から新たな学習指導要領(文科省が定めた各教科等で教える内容が記されたもの)が本格実施されました。今回の改訂の趣旨は「予測困難な時代に、一人一人が未来の創り手となる」です。

新型コロナウイルスの感染においても、ウイルスが未知のものであるだけに、どのような対策をとればいいのか、一体何が本当のことなのか、と大人も迷うところです。このような大きな変化に出会ったときに、未来を切り開くためには、失敗を恐れず挑戦する意欲と自分もまんざらではないという自信こそが必要となります。

本校は、このような生きて働く力をもった子どもを育てることが今後の学校教育に求められることだと考えます。

そこで、これからの時代において子どもたちに身につけて欲しいことをもとに、学校教育目標を新しくしました。子どもたちや保護者、職員が覚えやすく、常に目標として意識することができる簡潔な言葉に替えました。(全体像はweb上にあります)

【基本目標】(旭小のミッション)

新たなことに挑戦する心と自ら学び、考え、実践できる力を育て、豊かな心を持ち、他者との共存を図りつつ、意欲をもって主体的に生きる人間の育成をめざす。

本校では、学校に子どもたちが通ってくる目的を「自立して生き活きと生活できる社会人としての素養を身につける」ことだと考えます。

そのための手立てとして、基礎学力すなわち「読み書き算盤」(現代ではコンピュータや外国語などもあります)が必要となるわけです。また、その基盤として心身の健康や困難を克服する発想や手立てなどを身につけていることも大切です。しかし、何よりも学校教育は「他者と共に過ごすことを学ぶ」ことに意義があります。そこで、具体的に目指す子どもの姿を次のように設定しました。本校のビジョンです。

【めざす児童像】(具体目標)

かしこい子	知識・技能だけでなく、人間としてより良い判断ができる
やさしい子	他者との共存を図り、進んで働くことを悦べる
たくましい子	自信と意欲をもって明るく元気に生活できる

これまで、【学力】とは、いかにテストで求められる正解を答えられるか、で測られていました。しかし、これからの時代はそれだけではなく、知り得た知識や技能を活用して、自ら考え判断できる力が求められます。本校では【学力】を「人生において使えるもの」として捉えます。

子どもたちが明るい未来を築き、生き活きと活躍できる素地を養っていきます。